

事業の基礎情報

事業実施地域	福岡県嘉麻市熊ヶ畑
人材育成の対象	熊ヶ畑を中心とする嘉麻市内の住民・嘉麻市のまちづくりに関心のある者
人材育成の手法	フィールドワーク・セミナー・現地スタディ・実践ワークショップ・フォローアップ
人材育成の内容	複数のステークホルダーと協働しながら地域課題解決に向かうためのコーディネート力・課題解決力を身につける
想定育成人数	最大30人

取組の概要

(現状の地域課題と事業目的)

令和5年度の本補助事業プログラムを通して、嘉麻市熊ヶ畑エリアにおける地域コーディネータ人材を輩出し、そのコーディネータを中心に交通分野に留まらない地域課題解決に向けての動きが活発化している。一方で、嘉麻市内の他エリアを見渡すと、コーディネータ人材の不在により、熊ヶ畑と同じような課題が課題のまま放置されているケースが多くある。本事業では、熊ヶ畑での人材育成プログラムをモデルとし、一歩踏み出したエリアにコーディネータを輩出することで、地域交通を軸とした共創の促進・普及を目指す。

(事業の概要)

- ①対象者：熊ヶ畑を中心とする嘉麻市内の住民・嘉麻市のまちづくりに関心のある者
- ②プログラム形式：
 - (1) フィールドワークによる地域課題の把握・分析
 - (2) セミナー・現地スタディによる先行事例インプット
 - (3) 地域課題に対しての実践ワークショップ
 - (4) プログラムの成果公開を通じたフォローアップ
- ③講義・実習内容：フィールドワークで見えてきた交通分野を含む、地域課題に対する解決手法についての講義やワークショップを開催
- ④習得させるもの：課題に対して複数のステークホルダーと協働しながら課題解決に向かうための方法と手法

取組の詳細

(事業により見込まれる効果)

様々な要素が複雑に絡み合っている地域課題に対して、これまでは各分野ごとに課題解決策を練ってきたが、解決には至っていない。本事業では、各分野を横断的に繋ぐことのできるコーディネータ人材を育成することで、多様な関係者の主体的な参画と連携を促すのに有効である。それによって、行政、民間事業者だけでは難しい、人と人との関係性の中で生まれる解決策を講じることができる。一例として住民同士の連携があれば、買い物難民の高齢者に対し、購入したいものをリストアップしてもらい、コーディネータを中心に近隣住民の中で買い物に行く人について購入してきてもらうような仕組みを作るなども考えられる。これはお金を払って得るサービスでもなく、行政が用意する福祉サービスでもなく、コーディネータが引き出す住民の主体性により可能となる解決策である。

(事業実施手順・スケジュール)

手順及びスケジュールは右図の通りである。



(補助事業実施後の予定)

補助事業実施後は、当該育成プログラムの対象となった地域コーディネータ人材を中心に、嘉麻市における公共交通ネットワークの複合的サービスも視野に入れた活動を行う。資金面では、一般社団法人日本民間公益活動連携機構 [JANPIA] のもつ資金の活用も視野に入れた展開を予定している。各地域の自発的な活動に対する支援も継続して行い、活動を積極的に情報発信していくことにより、住民主体の地域ブランディングにつなげていく予定である。上述の取組を通じて、何のための交通や移動なのかを問い直し、交通や移動そのものは手段へと組み替える。中長期的には、地域公共交通を軸とした様々な共創を実現するモデルとして、全国へと展開する。